

がんを診る総合医養成コース(基礎)

責任者:関 順彦(内科学講座病院教授 腫瘍内科)

目的:medical oncology(臨床腫瘍学)は、臓器横断的ながんの体系的な知識を基盤とする新しい分野である。分子マーカーによる薬剤選択を活用し、分子標的薬を用いた、各臓器がん横断的ながん薬物療法が進んでいる。
本コースは、選択しやすい短時間の基礎コースであり、一般診療を基盤として、がん患者に接するポイントをエッセンスとして修得し、他職種の医療スタッフの考え方を多角的に学ぶことを目的とする。

定員制限:1日3名まで

受講条件:医師・薬剤師・看護師・放射線技師・ソーシャルワーカー・ケアマネージャー・行政担当者など

受講方法:実習希望日を決める。(下記日程参照)

希望日の1週間前までに帝京大学がんプロ担当事務にメールで連絡し、申込用紙を提出すること。

1日実習は、午前8時30分から午後5時まで。時間帯の変更については事前に連絡のこと。

持参する物:手持ちの名札、白衣、看護師・薬剤師・他職種は使用しているユニフォームで可。

集合場所:別途指示

月曜日 午後1時30分から午後6時まで

ジャーナルクラブ(文献討議)

腫瘍内科病棟回診

担当症例治療カンファレンス

第1, 第4は、午後6時30分より各々肝胆膵、消化管がんボード

月1回 午後4時00分から骨転移がんボード

その他 月曜日(毎週)午後6時15分から乳腺がんボード

水曜日(月1回)午後6時30分から呼吸器がんボード

化学療法室研修等 随時(要事前登録)

なお、他のがんプロ養成コースの講義については随時選択聴講を可とするが、担当事務局に事前連絡を必要とする。